

Case10

株式会社  
ジョーソン  
ドキュメンツ

代表者メッセージ

代表取締役社長  
川田 辰男

## 製品マニュアル類、技術伝承eラーニング教材など、技術系コンテンツ制作のプロダクションです

商品作りで大切にしているのは、「分かりやすさ」。製品のことを深く理解し、文章やイラスト、映像、ナレーション、VRなどを駆使して、ユーザーに分かりやすいマニュアルを目指しています。そのすべてを自社で一貫制作できるのが当社の強み。技術系ドキュメントに特化しており、実績豊富なスタッフが、専門家に寄り添って最適なコンテンツを提案、深い取材をもとに制作しています。VRは、技術伝承の分野でも可能性を秘めています。匠のコツや勘まで、VRで表現できればと思っています。

企業情報

所在地	香川県高松市林町351番地20
TEL	087-868-1826
設立	2001年12月
代表者	川田 辰男
業種	情報サービス業
従業員数	27名
事業内容	産業装置等のマニュアル類の企画制作、企業内オンライン教育・訓練のためのシステム提案、各種eラーニングコンテンツの制作

事業計画名

製造業の設計データを活用・デザインする！  
「3次元リアルイラスト及びバーチャルリアリティ」  
サービスの開発

製造業の3次元設計データを扱う技術を活用し、バーチャルリアリティ化（仮想空間での疑似体験）に成功しているが、収益や効率をさらに向上させるため、機材やソフトウェアを導入する。制作・販売プロセスの検討と標準化を行い、「設計」「営業・広告」「人材教育」など、顧客ニーズに幅広く対応する。

取り組みの経緯



クライアントからの設計3Dデータや文書データ、技術情報、ノウハウ、組織の経営・法令など資料をもとに、「マニュアル・パンフレット」、「3Dイラスト」、「技術やトラブル等の教材」などを組み合わせて提案している。近年、設計用の3Dデータの有効活用が望まれており、顧客から要望も増えている。バーチャルリアリティ化の試作に成功しているが、品質や効率など解決すべき課題も見つかった。

実施内容

3D映像専用ワークステーション（映像処理専用の半導体ボード内蔵）、専用のネットワーク機器（通信経路の指定、速度の最適化やネットワークエラーの防止・検知、社内感染の防止機能付き）、映像処理専用のソフトウェア、色彩管理機能付きディスプレイなどを導入し、データ処理の効率化、高品質化を図る。バーチャルリアリティ装置や人間の動作を記録するモーションキャプチャー機器も取り入れた。



成果



コンピュータ処理の速度、安定性が改善し、映像制作の質と効率性が向上した。「マニュアル・手順型」、「広告型」、「体験型」など、各コンテンツの製品化が進み、VRの制作、販売の体制が整った。リアリティや臨場感を感じるためには、実際の装置や機器などの3Dデータや映像を用いた空間づくり、音や振動など別の要素も有用なことが分かり、次の展開への足掛かりや商品開発へとつながった。

紙や言葉だけでは伝わりづらい。  
VRだから身に染みる、事故や災害の怖さ。体感する、安全教育の時代へ。

工事現場での事故を防ぐため、また、地震や火事・津波といった災害に備えるために、事故や被害を想定することはとても大切ですが、見たり、聞いたりだけでは、なかなか実感できないもの。当社では現在、労働事故などの報告書を読み解き、得られた教訓から、体感機と組み合わせたVRも制作しています。ゲーム感覚で学べ、深く記憶に残り実効性のあるコンテンツを目指します。